

トピックス **ぶらす**

10/30

練習の成果や工夫を凝らした作品を披露

高齢者の皆さんに学習の場を提供し、地域社会のリーダーを育成することを目的とする「宮城いきいき学園」の登米・栗原校の第9回文化祭が10月30日、登米祝祭劇場で開催されました。文化祭では、合唱や寸劇、作品展示などのほか、震災のため休校中の気仙沼・本吉校生が特別友情出演し創作ダンスを披露するなど、会場は熱気にあふれていました。



▲登米・栗原校生が、華やかなダンスを披露

11/1

災害警備活動に対し感謝状

東日本大震災時の災害警備活動に貢献したとして11月1日、県警本部長から市に感謝状が贈られました。これは、震災時、他県から派遣された災害警備部隊の宿泊施設として登米総合体育館など市内施設の提供に対し贈られたものです。震災時には、市を宿泊拠点として30以上の都道府県から延べ4万人の警備部隊が沿岸部で支援活動を行いました。



▲菊池佐沼署長（右）から感謝状が贈呈されました

11/13

ふるさとの話題に耳を傾ける

登米市内9町域の出身者で構成する「在京町人会」の合同交流会が11月13日、東天紅上野店で開催されました。交流会には各町人会から約120人が参加。「ふるさと登米市の今、これから」と題し東日本大震災の復旧の様子や農業や企業誘致の現状などについて市長が講演した後、会員相互に活発な意見交換が行われ、大いに交流を深めました。



▲9地区の町人会の会員が一同に集い行われた交流会

11/19~20

安全・安心な登米産食材をPR

首都圏で農業の魅力をPRする「第2回食と農の祭典～ファーマーズ&キッズフェスタ」が11月19・20の2日間、東京日比谷公園で開催されました。市からは、環境保全米や新鮮野菜、登米産牛串、はっと汁などを出品し、「登米市」をまるごと紹介。会場には多くの人々が訪れ、首都圏の消費者に対し、安全・安心な登米産食材をPRしました。



▲むすび丸も登場し、宮城県登米市の食材をPR

来年の地元開催に向けて

迫町協会がねんりんピックに出場

高齢者による全国最大のスポーツの祭典「ねんりんピック2011熊本」が10月15～18日までの4日間開催されました。期間中、熊本県内の13市町を中心に22種目のふれあいスポーツ交流大会が開催され、グラウンドゴルフの部に迫町グラウンドゴルフ協会の6人の皆さんが参加し、全国の元気な選手たちと腕を競い合いました。参加した皆さんは、「来年のねんりんピックは、地元「宮城県」で開催されます。地元大会での上位入賞を目指し、会員皆で頑張りたい」と今後の意気込みを話していました。



▲ねんりんピックに出場した、迫町グラウンドゴルフ協会の皆さん



▲大勢の子どもが並び、常に順番待ち状態だった大人気の縁日

祭りを楽しむ秋のひととき

第6回ふるさとよねやま秋まつりが10月29・30の2日間、米山総合支所や周辺施設で開催されました。会場では、商工祭や菊花展、文化協会のステージ発表、ふれあいこども広場などが行われました。中でもふれあいこども広場は大人気で、高さ4mのレインボースライダーを滑り降りるたび、子どもたちの元気な声が響いていました。また縁日は、常に10分以上待ちの行列ができ、準備した景品が予定時間よりも早くなくなるなどのハプニングが出るほど大盛況でした。

伝統と秋の味覚に大満足！

石越でまるごといしこしまつり

まるごといしこしまつりが10月30日、チャチャワールドいしこしを会場に開催されました。今年は、コミュニティ芸能祭と合同の開催となり、会場には市内外から約2,500人が訪れ、ステージで発表される優雅な舞や躍動感あふれる踊り、石越小学校・中学校による吹奏楽演奏や豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会などのさまざまなイベントを楽しみました。また、毎年恒例の石越牛のくし焼きや地元食材が詰まった「1,000人鍋」には長蛇の列ができ、多くの皆さんが秋の石越を楽しんだ一日となりました。



▲大人から子どもまで大人気だった、好例の「1,000人鍋」